

部活応援隊が行く!!

心身を磨いて全国で戦う

四日市ジュニアレスリングクラブ

四郷高校でレスリングを指導していた宇野勝彦さんが
1986年に立ち上げた「四日市ジュニアレスリングクラブ」。
年少から中学生が所属し、7月には全国大会への出場を控えています。

A1 Q1 競技の魅力は?

(五十樓選手)自分に自信をつけられ、体と心を鍛えられるところです。過去に負けた相手に勝つときはうれしいです。



キャプテン
五十樓 楽斗さん
(いそずみ かくと)

A4 Q4 今のチームの課題は?

(五十樓選手)競り合いで少し弱いところがある。最後まで攻め切れる心と互いを応援し合えるチームにしたいです。



A2 Q2 チームの強みは?

(宇野監督)同じ体重の選手同士で戦うので、体のハンディがないこと。練習すればするほど結果に現れるところも魅力です。



(五十樓選手)みんな試合の最後まで諦めずに戦っているところです。



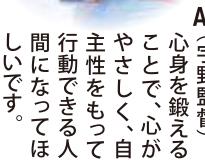
二次元コードを読み取ると
四日市ジュニアレスリング
クラブのコメントが見られます。



四日市
監督 宇野 勝彦さん

Q5 これから取り組んでいきたいことは?

(宇野監督)2021年の三重とこわか国体が中止になりましたが、現在2035年の開催を三重県は目指しています。その大会では四日市市から選手を出したいと考えています。



A6 (宇野監督)

心身を鍛えることで、心がやさしく、自生徒さんには主性をもつて行動できる人間になつてほしいです。



A3 Q3 現在の目標は?

(宇野監督)7月に行われる全国少年少女レスリング大会での優勝です。目標には一番を目指したいです。



Q6 活動を通じて生徒さんには学んでほしいことは?

(宇野監督)心身を鍛えることで、心がやさしく、自生徒さんには主性をもつて行動できる人間になつてほしいです。

